

令和 8 年度一般廃棄物収集運搬業務委託 仕様書

1. 目的

本仕様書は、一般廃棄物収集運搬業務委託の概要を示したものであり、業務を行うにあたっては、本仕様に従い、忠実に実施するものとする。

2. 業務内容

指定する収集所に排出される品目を収集し、指定する搬入施設に運搬する。

3. 委託業務の履行

- (1)業務を行うにあたっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」、「千曲市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」等のごみ等収集に関する関係法令・規則を遵守し、本市の指示及び本市が定める一般廃棄物処理計画に従って誠実、完全に業務を履行すること。
- (2)受託者は、受託した収集運搬業務の公共性に鑑み、誠意をもって事業の運営にあたり、天災その他不可抗力による事故の場合を除き、受託した収集運搬業務の停滞により迷惑を及ぼすことのないよう、万全の措置を講じること。
- (3)受託者は、本市からの受託業務であることを十分に認識し、廃棄物積載量、走行速度等について道路交通法その他関係法令を遵守した上で最大限安全に注意するとともに、市民に対して親切・丁寧な運転と対応を心がけること。

4. 委託期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

5. 委託業務の概要

(1)業務区分

| 品目 | 収集地区 | 収集回数 | 収集所数 | 搬入施設（状況により搬入施設が変わる場合があります） |
|--------------|-----------|-------|------|--|
| ① 可燃ごみ | 更埴川東Ⅰ | 2 回／週 | 146 | ちくま環境エネルギーセンター |
| ② 可燃ごみ | 更埴川東Ⅱ | 2 回／週 | 93 | ちくま環境エネルギーセンター |
| ③ 可燃ごみ | 更埴川西 | 2 回／週 | 169 | ちくま環境エネルギーセンター |
| ④ 可燃ごみ | 戸倉 | 2 回／週 | 155 | ちくま環境エネルギーセンター |
| ⑤ 可燃ごみ | 上山田 | 2 回／週 | 123 | ちくま環境エネルギーセンター |
| ⑥ 不燃ごみ・乾電池 | 更埴 | 1 回／月 | 161 | 葛尾組合不燃ごみ処理施設(令和 8 年 12 月 31 日まで) (仮称)葛尾組合リサイクルセンター(坂城町)(令和 9 年 1 月 1 日以降) |
| ⑦ 不燃ごみ・乾電池 | 戸倉・上山田 | 1 回／月 | 156 | 葛尾組合不燃ごみ処理施設(令和 8 年 12 月 31 日まで) (仮称)葛尾組合リサイクルセンター(坂城町)(令和 9 年 1 月 1 日以降) |
| ⑧プラスチック製容器包装 | 更埴川東Ⅰ | 1 回／週 | 53 | 葛尾組合ストックヤード |
| ⑨プラスチック製容器包装 | 更埴川東Ⅱ | 1 回／週 | 50 | 葛尾組合ストックヤード |
| ⑩プラスチック製容器包装 | 更埴川西 | 1 回／週 | 54 | 葛尾組合ストックヤード |
| ⑪プラスチック製容器包装 | 戸倉 | 1 回／週 | 99 | 葛尾組合ストックヤード |
| ⑫プラスチック製容器包装 | 上山田(温泉地区) | 2 回／月 | 7 | 葛尾組合ストックヤード |
| | (農村地区) | 1 回／週 | 21 | |
| ⑬ びん | 更埴 | 2 回／月 | 156 | 葛尾組合びん保管施設 |
| ⑭ びん | 戸倉・上山田 | 2 回／月 | 126 | 葛尾組合びん保管施設 |
| ⑮ 缶 | 更埴 | 2 回／月 | 156 | 葛尾組合不燃ごみ処理施設(令和 8 年 12 月 31 日まで) (仮称)葛尾組合リサイクルセンター(坂城町)(令和 9 年 1 月 1 日以降) |
| ⑯ 缶 | 戸倉・上山田 | 2 回／月 | 126 | 葛尾組合不燃ごみ処理施設(令和 8 年 12 月 31 日まで) (仮称)葛尾組合リサイクルセンター(坂城町)(令和 9 年 1 月 1 日以降) |
| ⑰ ペットボトル | 更埴 | 2 回／月 | 156 | 葛尾組合ストックヤード |
| ⑱ ペットボトル | 戸倉・上山田 | 2 回／月 | 126 | 葛尾組合ストックヤード |

| | | | | |
|--------|--------|-------|-----|----------|
| ①⑨ 蛍光管 | 更埴 | 1 回／月 | 159 | 受託者の保管場所 |
| ②⑩ 蛍光管 | 戸倉・上山田 | 1 回／月 | 125 | 受託者の保管場所 |

収集所数は、区・自治会等の調整で増減する場合があります。
(仮称)葛尾組合リサイクルセンターへの搬入は予定ですので、変更となる場合があります。

(2)地区

| 収集地区 | 対象地域（概ねの目安） |
|-------|--|
| 更埴川東Ⅰ | 寂蒔、鋳物師屋、打沢、小島、中、桜堂のうち国道より東側、屋代1・2区、屋代3・4・5・6区の一部 |
| 更埴川東Ⅱ | 新田、杭瀬下、桜堂のうち国道より西側、雨宮地区、倉科、森、屋代3・4・5・6区の一部 |
| 更埴川西 | 旧更埴市の川西地区 |
| 戸倉 | 旧戸倉町 |
| 上山田 | 旧上山田町 |
| 更埴 | 旧更埴市（更埴川東Ⅰ、Ⅱ、川西） |
| 戸倉上山田 | 旧戸倉町、旧上山田町 |

※正確な位置につきましては「ごみ収集所位置図」（環境課備付）で確認してください。

6. 委託業務の内容

- (1)本市のごみ収集カレンダーに従い、定められた日に収集を実施すること。ただし、特定の地域が個別に収集日を定め、本市がその収集日での回収を認めた場合はその限りではない。その場合は別途、本市と協議するものとする。
- (2)定められた地区・品目の収集を行うこと。ただし、本市の指示により変更する場合がある。
- (3)定められた地区に排出されるごみ等については、定められた日に必ず全て収集を行うこと。
- (4)収集は、午前8時から行い（時間厳守）、原則当日中に指定する施設及び時間内に搬入すること。ただし、上山田地区のプラスチック製容器包装、びん、缶、ペットボトルの収集については午前9時から収集開始とすること。また、交通事情等の受託者が責を負わない事由により、やむを得ず時間内に搬入できない場合は、本市に連絡し、対応を協議すること。
- (5)収集業務中は、周囲の人や車の安全を妨げることのないよう十分に配慮し、収集後は、散乱・飛散物の清掃を行い、収集場所の清潔保持に努めること。また、運搬中は後部シャッターを閉めるなど、道路等へのごみ等の飛散防止に努め、交通規則を遵守すること。
- (6)収集車の走行速度は、法定速度を守り走行すること。また、ちくま環境エネルギーセンターへの搬入にあたっては、施設周辺地域への配慮のため、長野広域連合により指定された走行速度（時速30km以下）及び走行ルートを厳守すること。
- (7)委託業務に従事する者は、運転手・収集作業員ともに本市のごみの分別と出し方を十分に理解し、適正な分別排出ができないものがある場合には、収集できない理由を記載したシールを貼り置いておく等の分別排出の啓発の対応を行うこと。ただし、指定袋への記名制度や重量超過等の対応については、本市が規定する運用規則に従うこと。
- (8)ごみ等収集後は、コンテナ等をステーション内に格納し、扉を閉めること。また地区の慣行に従うこと。
- (9)蛍光管の受託者は、雨風等の侵入が防げる屋根、囲いがあり適正に保管できる保管場所を有すること。
なお、保管場所は大型車両の出入りができること。
- (10)収集にあたっては、円滑・安全に努めること。
- (11)収集漏れ等により収集依頼があった場合は、直ちに収集すること。
- (12)本市は、災害その他必要に応じて随時、仕様書に定める業務以外の業務を受託者に指示することができる。この場合受託者は、本市の指示に従うこと。

7. 機材等

本件業務に使用する車両については、以下の事項を遵守しなければならない。

- (1)車両は、自動車検査証の使用者が受託者名義のものとし、収集業務は原則パッカー車を使用すること。
ただし、可燃ごみ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、缶（スプレー缶を除く）以外の品目については、パッカー車以外の車両の使用も可とする。

- (2)車両は、十分な日常点検（道路運送車両法第47条の2第1項）を行うこと。
- (3)車両火災等が発生した際、応急処置がとれるよう消火器等の必要な機器を車両に常備すること。
- (4)車両は、本市の指定する「千曲市家庭ごみ収集車」マークを表示し他の業務には使用しないこと。ただし、事情により使用する場合は、事前に本市が定める様式により届け出て承認を受けること。
- (5)車検・修理等のため、本市の承認を受けた車両以外の車両を一時使用する場合は、事前に本市が定める様式により届け出て承認を受けること。
- (6)本件業務に使用する車両は、受託者の負担により、対人及び対物賠償金額無制限の自動車保険に加入していること。

8. 業務従事者等

- (1)本件業務に従事する場合は、全ての業務において収集車1台につき運転手・収集作業員合わせて2名以上乗車すること。
- (2)業務従事者の勤務態度、業務履歴状況が不良であると認められる場合は、本市が業務従事者の変更を受託者に指示できるものとする。
- (3)本件業務に従事する者及び車両を事前に本市が定める様式により届け出ること。また、変更等がある場合も速やかに届け出ること。

9. 業務履行における注意義務

- (1)受託者は、受託した収集運搬業務の実施にあたっては、本市の指導監督に従うこと。
- (2)受託者は、自らの社員をもって従事させること。
- (3)受託者は、業務従事者に対し以下の研修・教育・指導を行うこと。
 - ア 業務の開始日から直ちに適正に業務を履行できるよう、事前に業務従事者に対して十分な研修や収集所の確認等を行うこと。
 - イ 適正に業務を行うため、また交通事故・労働災害等を防止するために、業務従事者に対し、次に掲げる項目の十分な研修等を行ったうえ、本業務に従事させること。
 - ① 安全運転に関すること。
 - ② 安全作業（機械操作、積込方法、収集場所確認等）に関すること。
 - ③ 作業内容に関すること。
 - ④ 市民対応マナーに関すること。
 - ⑤ 本市の分別ルール、ごみの排出方法（収集品目、対象品目等）に関すること。
 - ⑥ 廃棄物処理法、道路交通法、その他関係法令に関すること。
 - ウ 本業務開始後も上記イの研修を定期的に行うこと。
 - エ 運転手の業務に従事する者に対して、業務従事前に関、アルコール類を飲用していないこと及び免許停止・取消等の処分を受けていないことを確認すること。
 - オ 毎年定期的に業務従事者の健康状態を確認するとともに、業務従事時には、業務従事者の健康状態に留意し、本業務遂行に支障があると判断される場合には、代替の業務従事者を用意すること。
 - カ 業務従事者の労務管理等にあたっては、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法、厚生年金保険法、雇用保険法等の労働関係法規を遵守すること。
- (4)車両故障・事故等により、当日中に行うべき業務を完了し得ない場合は、本市に連絡するとともに速やかに代替車を使用するなどの対応を行い、当日中に当該業務を完了させること。
- (5)受託者は、収集所の施錠、違法駐車等により収集が困難な場合は、速やかに本市へ連絡し、その指示に従うこと。

10. 市民対応

- (1)受託者は、受託業務の効率的実施と業務の公共性を十分に認識し、常に市の業務を請け負っていることを念頭に置き、誠意をもって業務を実施すること。また、作業に際しては服装・言葉づかい・態度等において市民の信頼を損なわないようにし、市民サービスの向上を心がけること。
- (2)学校や保育園等の周辺については、安全確保の観点から通学・通園時間帯は収集ルートから外すこと。

- (3)受託者は、受託業務の実施に関し、いかなる名目であっても市民等から金品その他の物を收受してはならない。
- (4)受託者が市民等から収集業務に関する苦情等を受けたときは、受託者が誠意を持って対応すること。また、対応内容を直ちに本市に書面で報告すること。

11. 連絡体制

- (1)受託者は、本市からの連絡を確実に受け、業務従事者に対し明確な指示ができる体制をとること。
- (2)受託者は、本業務の作業終了後や休日等において、本市からの緊急連絡や作業等に対応できる体制をとること。

12. ごみ等の運搬先

運搬先は、指定する場所とする。ただし、搬入先の施設の状況により、別の施設へ搬入を指定する場合がある。

13. ホリデーステーション

下記のとおり収集所を開設しているため、5. (1)⑥～⑳の受託者は収集業務を実施すること。

| 収集日 | ホリデーステーション施設 | 品目 | 収集運搬日 |
|-------------------------------|----------------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 毎月 2・4 回 目の土曜日 9 時～10 時 | 人権ふれあいセンター西側駐車場 ふれあい福祉センター駐車場 | プラスチック製容器包装、びん、缶、ペットボトル | 地区の収集日に併せ、次回の実施日までに収集する。 |
| | | 乾電池、蛍光灯 | 月に 1 回、地区の収集日に併せて実施する。 |
| 毎週土曜日 13 時～14 時 | 西友上山田店 駐車場 | プラスチック製容器包装、びん、缶、ペットボトル | 地区の収集日に併せ、次回の実施日までに収集する。 |
| | | 乾電池、蛍光灯 | 月に 1 回、地区の収集日に併せて実施する。 |

14. 報告事項

- (1)受託者は品目毎収集量の計量を行い、毎月 5 日までに、その前月分の実績報告書（以下「報告書」という。）を、本市が定める様式により提出すること。なお、缶、びんについては、収集所毎に計量し報告すること。（収集所のコンテナ数による按分算出も可とする。）
- (2)受託者は、交通事故や車両火災等が発生した場合は、自ら適切な処置・業務遂行するとともに、書面にて、直ちに本市に報告すること。また、受託者は関係者に対し、誠意を持って対応すること。
- (3)受託者は、労働災害等の事故が発生した場合は、自ら適切な処置をとるとともに、書面にて、直ちに本市に報告すること。
- (4)受託者が、市民等から収集業務に関する苦情を受けたときは、誠意を持って対応し、直ちに苦情内容を本市に書面にて報告すること。
- (5)所定の報告の他に、本市から業務の履行状況についての報告を求められた場合は、直ちに報告すること。
- (6)本市は、必要に応じ、本業務の履行状況の検査を実施することができるものとする。

15. 損害の負担

業務中に発生した事故、負傷等の損害（第三者に及ぼした損害を含む）に関して、本市は、一切の責任を負わない。ただし、その損害が本市の責に帰すべき事由により生じた場合はこの限りではない。

16. 契約・支払方法

- (1)受託者は、毎月 5 日までに、その前月分の報告書及び委託料の支払請求書（以下「請求書」という。）を、本市が定める様式により提出すること。但し、1 月と 5 月は集計でき次第速やかに報告すること。
- (2)本市が、前項の報告書及び請求書が正当であると認めたときは、翌月末日までに受託者に委託料を支払うものとする。
- (3)一月あたりの委託料請求金額は、年間委託料を十二月で除した額とし、端数が生じた場合は 4 月の請求額に合算する。
- (4)収集所数の軽微な変更が生じた場合は、委託料は変更しないものとする。

17. 業務不履行の際の契約解除及び変更

- (1)受託者の自己の責任により、収集運搬業務を履行しなかった場合は、本市は受託者に対して、契約の解除ができるものとする。
- (2)受託者が次のいずれかに該当するときは、本市は契約を解除し、又は委託料を減額することができるものとする。
 - ア 仕様書及び作業指示書に定める内容を実施していない等の粗雑履行があったとき。
 - イ 適正な業務の実施を確保していないとき。
 - ウ 本市が業務の是正及び改善を指示したにもかかわらず、これに従わないとき。
 - エ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及びその他関係法令等に違反する行為を行ったとき。
 - オ その他、受託者が適正に業務を実施することができないと判断されたとき。

18. 業務内容に変更が生じた場合

本契約及び仕様書に記載する業務について、法令・規則の改廃、本市の一般廃棄物処理計画、収集作業計画、施設の改変等やむを得ない事情で変更が生じる場合、受託者と速やかに協議し、契約の変更・見直し等を行うこととし、受託者はその変更内容等に従って作業内容を変更すること。

19. 環境への配慮

- (1)大気汚染の防止等を勘案し、より環境への負荷の少ない車両の使用や運転に努めること。
- (2)受託者は、地域貢献や社会貢献に努めること。

20. その他

- (1)気象状況等により業務が仕様書通りに遂行できないと判断される場合は、本市と協議し指示に従うこと。
- (2)受託者は、業務を行うにあたり、本市と十分な連絡を取りながら、業務の完遂を期するものとし、常に業務従事者に周知徹底が図れるような連絡体制を整えること。
- (3)受託者は、業務を行うにあたって、本市の施策に協力するように努めること。また、地震や風水害等の災害緊急時の収集作業等については、本市の指示に従って業務を行うこと。
- (4)受託者は、契約期間の終了に際しては、次年度の受託者に対し速やかに業務の引継ぎを行うこと。
- (5)この仕様書に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、別途協議するものとする。